

令和3年産情報

- 山形** 8月に入ってはえぬぎに続き雪若丸が出穂期を迎えました。さらに先週は各所でつや姫の出穂が始まっています。平年よりも3日ほど早い生育となっており、登熟が急激に進むと思われます。
- 福島** ひとめぼれの出穂は会津で3日程度、中通では5日も早くなっています。コシヒカリに関してもひとめぼれと同様の傾向が見られ、出穂は早まる傾向にあります。
- 長野** 県内では早生品種とされるあきたこまちは7月に収穫し、傾穂期に入っています。コシヒカリも今月に入って収穫が始まっています。幼穂形成期以降の高温により生育がかなり早まっており、過去最も収穫の早かった平成30年産並みの進捗です。このまま進むと平坦地では9月初旬からの刈り取りが見込まれます。
- 福井** ハナエチゼンは7月半ばに出穂期を迎え、コシヒカリはそれを1週遅れで追いかけるように進んでいます。いちほまれも収穫が始まっています。台風の影響については今のところ無さそうです。
- 佐賀** 夢しずくは、7月上旬の曇天の影響を受けて、一般的に草丈は高く茎数はやや少なめです。8月に入り穂孕期となっています。

今週の玄米入荷情報

- 福井 コシヒカリ テラル越前
佐賀 夢しずく 特別栽培
佐賀 さがびより
岩手 ひとめぼれ 前沢限定
秋田 あきたこまち やまもと
北海道 ゆめぴりか
新潟 岩船コシヒカリ
富山 コシヒカリ
宮城 ひとめぼれ 登米特裁
宮城 ササニシキ 登米特裁
福島 会津ひとめぼれ
新潟 コシヒカリ 長岡特裁
福島 中通コシヒカリ
栃木 コシヒカリ
福井 いちほまれ
=3年産=
佐賀 コシヒカリ 白石特裁

佐賀 コシヒカリ 白石特裁

粒は白く瑞々しい照りがあります。香が強く搦販した時には柔らかめの感触でしたが、口に含むとしっかりと粒を感じます。鹿児島コシヒカリに比べると噛み応えは若干弱いですが、甘みはこちらの方が感じられます。今年の九州はなかなかの高評価です。残りが少なくなってきました。

産地	銘柄	アミロース	蛋白	水分	評価値
佐賀	コシヒカリ 白石特裁	18.2	6.3	13.6	70

成分分析計

米に含まれている水分・タンパク質・アミロースといった成分を非破壊で測定します。さらにあらかじめ国産玄米と国産精米の検量線データを搭載しているため、試料とデータの比較によって品質評価値も表示することが出来ます。測定方式は、近赤外光を試料に当て、透過光を検出・演算する透過型近赤外分光方式です。品質評価値は、各計測データを過去のデータと照らし合わせて標準偏差を基本に計算していますので、過去(近年)の良食味米のデータが積みあがるにつれて平均値が高くなるので、高い評価値が表示される傾向は薄れてきます。